

御歌會初の  
御座のついでに  
心おこし  
大御歌のこゑ  
〔漢字まじり〕  
釈 遥空

祭儀  
▽月次祭  
2月2日(月) 午前1時 神殿  
▽建国記念祭  
2月11日(水祝) 午前11時 神殿

# 國學院大學学報

発行 国学院大学  
編集 総合企画部広報課  
〒150-8440 東京都渋谷区東四丁目  
電話 03 (5466) 0130  
FAX 03 (5466) 0528  
kouho@kokugakuin.ac.jp  
www.kokugakuin.ac.jp

平成27年 1月 第631号 定期号(毎月10日発行) 1部20円



筑前町東小田下区のホウケンギョウ (筑前町教育委員会提供)

九州の大学に赴任して4年になるが、講義を通して学生たちから教えられることも少なくない。赴任して間もないころ、年中行事の小正月の火祭りについて話をしていたところ、ある学生が「私の地元では1月7日にホウケンギョウという火祭りをしますが、それとは関係ないのですか?」と質問にやってきました。関東出身の私にとっては、小正月の火祭りといえば14日もしくは15日に行われるトンド焼きや左義長のことであり、それは思いもかけない質問であった。そもそも「ホウケンギョウ」という名からして聞きなれない言葉である。

そこで早速調べてみると、確かに福岡の筑前・筑後地方と佐賀県西部にかけての広い地域で、7日にホウケンギョウ(ホッケンギョウとも)という火祭りが行われており、それが小正月のトンド焼きや左義長に類似するものであることが分かった。例えば、福岡県筑前町で行われるホウケンギョウでは、1月6日の夜、道の辻や田んぼの中などの決められた場所に、子供たちが孟宗竹の高柱を中心に竹や藁を寄せ掛けて大きな作り物を作る。翌7日の早朝、これに正月の注連飾や栗箸、御札、書初めなどを加えて火をつけ、その火で正月に供えた餅を焼いて食べる。ホウ

## 北部九州の正月行事

# ホウケンギョウ



九州の正月火祭りの分布(小野重朗「十五夜綱引きの研究」より一部改変して引用)

九州産業大学准教授 須永 敬

ケンギョウの火に当たると長生きできる、じやアカギをしないなぞと言われる。また、竹が弾ける音が大きいとその年は万作になるとも言われる。昔はこの火種を家に持ち帰って火鉢の埋め火として使うと火事にならないとされていた。このように、行事内容やその伝承は、小正月の火祭りとして極めて似ている。では九州の他の地域はどうだろうか。佐賀県から長崎県にかけては、やはり同様の「鬼火」という行事が7日に行われている。また、熊本県の南部から鹿児島県と宮崎県の一部にかけてもやはり7日に鬼火の行事が行われている。九州においては1月7日に火祭りが行われ

九州産業大学准教授 須永 敬

ケンギョウの火に当たると長生きできる、じやアカギをしないなぞと言われる。また、竹が弾ける音が大きいとその年は万作になるとも言われる。昔はこの火種を家に持ち帰って火鉢の埋め火として使うと火事にならないとされていた。このように、行事内容やその伝承は、小正月の火祭りとして極めて似ている。では九州の他の地域はどうだろうか。佐賀県から長崎県にかけては、やはり同様の「鬼火」という行事が7日に行われている。また、熊本県の南部から鹿児島県と宮崎県の一部にかけてもやはり7日に鬼火の行事が行われている。九州においては1月7日に火祭りが行われ

九州産業大学准教授 須永 敬

ケンギョウの火に当たると長生きできる、じやアカギをしないなぞと言われる。また、竹が弾ける音が大きいとその年は万作になるとも言われる。昔はこの火種を家に持ち帰って火鉢の埋め火として使うと火事にならないとされていた。このように、行事内容やその伝承は、小正月の火祭りとして極めて似ている。では九州の他の地域はどうだろうか。佐賀県から長崎県にかけては、やはり同様の「鬼火」という行事が7日に行われている。また、熊本県の南部から鹿児島県と宮崎県の一部にかけてもやはり7日に鬼火の行事が行われている。九州においては1月7日に火祭りが行われ

九州産業大学准教授 須永 敬

ケンギョウの火に当たると長生きできる、じやアカギをしないなぞと言われる。また、竹が弾ける音が大きいとその年は万作になるとも言われる。昔はこの火種を家に持ち帰って火鉢の埋め火として使うと火事にならないとされていた。このように、行事内容やその伝承は、小正月の火祭りとして極めて似ている。では九州の他の地域はどうだろうか。佐賀県から長崎県にかけては、やはり同様の「鬼火」という行事が7日に行われている。また、熊本県の南部から鹿児島県と宮崎県の一部にかけてもやはり7日に鬼火の行事が行われている。九州においては1月7日に火祭りが行われ

第91回東京箱根間往復大学駅伝競走(関東学生陸上競技連盟主催)が、1月2日(往路:107.5km)・3日(復路:109.6km)に(西日とも午前8時開始)、大手町・読売新聞社前から箱根・芦ノ湖駐車場までの往復コースで、20大学とオープン参加の関東学生連合チームを加えた21チームによって行われた。2大会でシード権を逃し、昨年10月の予選会を2位で通過した本学陸上競技部(大森俊夫部長・前田康弘

箱根駅伝 復路の追い上げ届かず総合14位

左の写真にスマホをかざすと、「箱根駅伝」の動画がご覧になれます。

スマホをかざすと学報が動く!

### かざすAR

ダウンロードと使い方

アプリをダウンロード(無料)

- iPhoneは「App Store」、Android端末は「Google Play」を開き「検索」をタップ。
- 検索窓に「かざすAR」と入力し検索。
- 検索結果から「かざすAR」を選択します。
- 「iPhone」「無料」ボタンを押すと「インストール」と表示され、インストールボタンをタップするとパスワード入力画面が表示されます。ご自分の「Apple ID」とパスワードを入力し「OK」ボタンを押すと、自動的にインストールされます。
- 「Android」「インストール」ボタンをタップするとダウンロードが始まり「インストール済み」と表示されると完了です。
- 位置情報を利用しますか?と表示されるので「OK」ボタンを押します。数秒立ってカメラモードになり、画像を読み取れるようになります。

ご利用端末について

- ◇iOS 4以上を搭載したiPhone、iPadおよびAndroid OS2.2以上を搭載したAndroidに対応しています(一部対応していない端末もあります)。
- ◇ダウンロードは無料ですが、通信に費用がかかります。
- ◇通信環境によって、写真にかざした後、コンテンツが再生されるまで時間がかかる場合があります。

左のマークが付いた写真などにスマホをかざしてみましょ

QRコードを読み取る機種では右のQRコードからかざすARの無料アプリを入手できます。

歳日祭を斎行

歳日祭(斎主・大野晴仁 神道研修事務部長)が、1月1日午前11時から渋谷キャンパスの神楽で執り行われ、坂口吉一理事長、赤井益久学長をはじめ、本学人傘下諸学校の教職員・学生などが参列した。その後、若木タワの有栖川宮記念ホールで直会(新年祝賀会)が開催された。

みはるかすもの

今年も無事に新年を迎えることができた。今年の干支は「未」である。羊は往々にして良いことに例えられる。大きい羊は「美」であり、示す偏を付ければ「祥」になる。また古代中国では羊肉は高級肉であった。古くから遊牧民にとって重要な家畜であり、肉や毛はもちろん、部位の全てを食すこともなく使用する。幼羊の頃から家族同様に育てられた雄羊は、放牧の際、群羊をまとめるリーダーとされる。幼くして死んだ雄羊を家畜内に埋葬するなど、そこには羊への思いを見ることができ、ギリシア神話では王子王女の兄妹を助ける牡羊座、アルゴ船で英雄たちを駆り立てた金羊毛が思い出される。またキリスト教・イスラム教においても尊重されると共に、象徴的で身近な存在にもなっている。18世紀初めの日本の百科事典『和漢三才図会』には、羊の様子が詳細に書かれているものの、家畜として身近な動物になるのは明治時代以降。江戸時代では空想動物と大差なく、干支から得る姿にさまざまな思いを馳せていたのかもしれない。話を今年に戻せば、戦後70年の節目の年である。日本は70年間戦争に加担しなかった近代稀にみる平和な時期を過ごしている。しかし、その間にも多くの災害に見舞われ、20年前には、阪神淡路大震災も地下鉄サリン事件も起こっている。この健やかに迎える本年も「羊頭狗肉」にならぬよう、祈る思いである。この1年も善き年にした

箱根駅伝 復路の追い上げ届かず総合14位

本学最高の8位以内を指した同部は、総合14位、3大会ぶりのシード権奪還はならなかった。総合成績は、11時間18分12秒で14位(往路:5時間42分48秒・19位、復路:5時間35分24秒・11位)。次回大会は予選会からの挑戦となる。大会終了直後に大手町で行われた報告会で前田監督は「シード権を奪還できず申し訳ない。来年はシードを取らせてあげたい。明日から練習にと振り返った。(8面に詳細)」

歳日祭を斎行

歳日祭(斎主・大野晴仁 神道研修事務部長)が、1月1日午前11時から渋谷キャンパスの神楽で執り行われ、坂口吉一理事長、赤井益久学長をはじめ、本学人傘下諸学校の教職員・学生などが参列した。その後、若木タワの有栖川宮記念ホールで直会(新年祝賀会)が開催された。



# 私の就活体験談①

今年度の就職活動で内定を獲得した4年生に、自身の就職活動について「体験談」を寄せていただいた。今号では企業、公務員の分野から各1人が登場し、就職活動での苦労や、成功へのポイントなどを紹介する。就職活動がいよいよ本番となる3年生には、ぜひ参考にしていきたい。 (総合企画部広報課)



〈企業〉  
**(株)セブンイレブン・ジャパン**  
長谷川 善彦  
神道文化学部神道文化学科

就職活動は、楽しみながら取り組むべきだと思いがちです。もちろん、苦労することも多々あります。それを自分でどうクリアしていくかが、就職活動の成功につながる一つの力だと思えます。

就職活動における苦労は数えきれないほどありますが、スケジュール管理には特に苦労しました。エントリーした企業が増えていくと、一日のうちに複数の選考や説明会が重なることが

あります。その中で、参加する説明会の時間を間違えてしまったりすることがあります。電車の乗継ぎがうまくできず、慌てて最寄りの駅に降りることもありまして、

ごまめな時間確認と、早めの行動がこの問題の解決策でした。自分が認識しているスケジュールが正しいとは限りません。何度もスケジュール帳で予定を確認することが大切です。また、電車移動が主になるの



〈公務員〉  
**松本市役所**  
文学部史学科  
福寫 彩子

「君の笑顔は作り物っぽいわね」という、私が最初に受けた面接で、面接官の方から言われた一言が今でも忘れられません。その時は、なぜそんなことを言われてしまったのかをきちんと理解することができませんでした。なぜなら、独特の雰囲気と緊張感の中で、自分のことを必死に伝えようとするばかりで、表情が固くなってしまっていたのだと後から考えました。

この面接に落ちたのは、昨年の2月のことでした。私

が受ける企業の数々は選考が4月からだったので、残りの期間でなんとかしなければならぬと奮起しました。以前から参加していた模擬面接では、他の人の面接中の表情や話し方をじっくりと観察するようにしていました。その中で私が参考にしたと思う人は、面接中に所々とても良い笑顔を浮かべている人でした。その人に話を聞いてみると、自分の昔の出来事について話す際に、嬉しいことなどを思い出しながら話すことで自然と笑顔がこぼれるのだと言われました。これなら自分にもできるかもしれないと思い、そのことを意識して面接に臨むよ

り、友人に頼んだりして、添削を繰り返しました。第三者の意見は参考になることが多くあります。意見を全て受け入れるよりは、結果的に自分にとって書きやすくなるものが良いと思います。人に読んでもらうことを考えて内容も文字も丁寧に書くことを心がけました。

何よりも、就職活動は今しかできない貴重な経験だと、前向きに楽しんで取り組んでみることをお勧めします。例えば、今まで出会うことのない人々たちと知り合う機会にもなります。たった一回選考が同じだったという理由だけで、現在でもつながりをもち続けている人々もいます。

前向きな姿勢であれば、表情にも表れ、それが好印象につながることも考えられます。ぜひ、楽しみながら就職活動に励んでください。

募書類の質が下がってしまっているのは、非常に残念なことです。就職活動を成功させるための秘訣は、こうした問題をしっかりと解決することです。就職活動の成功は、自分が望んだ企業への就職だと思えます。そのために時間を守る、書類は丁寧に仕上げるといった基本的なことが大切になってきます。

私は時間を守ることに加えて、誰よりも早く会場に到着することを心がけました。メリットは、説明会や選考が始まる前に、企業の方と話ができることです。また顔を覚えていただけでもあります。社員の方と事前に話ができる機会は貴重です。少しでも他の学生と差をつけたいと思っていれば、実践して損はないはずです。

応募書類は、大学のキャリアサポート課を利用した

らになりまして。私は、公務員を目指していましたが、「来年度から絶対に社会人になりたい」という気持ちから、民間企業の選考も受けていました。私の就職活動において、これだけは譲れないという軸が2つありました。1つ目は「公共性の高い仕事であること」、2つ目は「いずれは地元で働けること」でした。自分の中で軸が定まっていなくて悩むのを通過することは難しいので、自分の中で譲れない軸をしっかりと決めておくことが大切だと思います。しかし、選考を通った時にも自

らになりまして。私は、公務員を目指していましたが、「来年度から絶対に社会人になりたい」という気持ちから、民間企業の選考も受けていました。私の就職活動において、これだけは譲れないという軸が2つありました。1つ目は「公共性の高い仕事であること」、2つ目は「いずれは地元で働けること」でした。自分の中で軸が定まっていなくて悩むのを通過することは難しいので、自分の中で譲れない軸をしっかりと決めておくことが大切だと思います。しかし、選考を通った時にも自

## 就職戦線突破！ 就職力強化セミナー 模擬面接集中トレーニングを実施



3年生を対象とした就職力強化セミナーの模擬面接集中トレーニングが、昨年12月13日と20日に、渋谷キャンパス3号館で行われた。

午前9時から始まった同セミナーは、8つのグループに分かれて実施。8人の企業人事担当者が面接官役となり、本番さながらの環境でグループディスカッションや集団面接などが行われた。

同セミナーは毎年行われていて、今年度受講生は46人。参加するためにはあらかじめ選考を受ける必要があり、その後約5カ月間にもおおよそ厳しいカリキュラムが受講生を待ち受けている。しかし、同セミナー受講生たちの就職率は毎年高く、本学の就活生にとってはまさに「虎の穴」ともいえる存在となっている。

今年度は、2月23日(月)に行われる就活解禁直前アドバイス会・決起集会で全てのプログラムが終了する予定だ。就職協定が見直される最初の年となる3年生の就職活動の動向が注目される。

## 3 大学合同面接トレーニング

昨年12月23日午前10時30分から、渋谷キャンパス120周年記念2号館2303教室で、本学と神奈川大学、駒澤大学の3大学による合同面接トレーニングが開催された。

本企画は、他大学のモチベーションの高い学生と一緒に模擬面接などを受けることで、本学学生の就職活動に対する意識を向上させることを目的に実施されている。全国の大学でも珍しい取り組みだ。本学では3年前から実施しており、今回は本学が会場となった。

今後継続的に同様の企画を実施する予定で、2月19日(木)は神奈川大学を会場に今年度2回目のトレーニングを実施する。



講師役となる企業人事担当者の紹介

## 未来の記者を目指す 産経新聞がインターンシップ

昨年12月3日と8日の2日間に行われて、本学学生を対象とした産経新聞社主催のインターンシップ研修が行われた。

この日は、午後2時に大手町の産経新聞本社で、講義と社内見学を行った。参加した14人の学生は、同社担当から新聞業界に就職するために必要な知識や新聞ができるまでの流れなどのレクチャーを受けた。

2日目は8日は、午後6時から本学渋谷キャンパスで、新聞業界の現状や文章の書き方などについて同社社員から講義を受けた。

この企画は、本学キャリアサポート課と広報課、産経新聞社が協力し実現したもので、今年度が初めての試みだ。11月に行われた第1回目に引き続き2回目の実施となった。

## 「あすなろ」、「田村君」、「カピー」の各奨学生決まる



記念撮影に収まる奨学生と佐藤学生部長

平成26年度の「あすなろ奨学金」「田村祥浩君記念奨学金」「カピー奨学金」の奨学生が決定した。

「あすなろ奨学金」(元本学職員川副登美氏の篤志により昭和58年に制定、同氏逝去後、ご遺族の篤志により継続、金額30万円)には西村海君(健体3)が、「田村祥浩君記念奨学金」(本学在学中に輪禍に遭遇した故田村祥浩君のご遺族の篤志により平成3年に制定、金額15万円)には藤田長英君(神文1)が、「カピー奨学金」(元本学職員放生童子氏の篤志により平成5年に制定、金額30万円)には宮下朋子さん(史1)と、板井一織君(初教3)が決定した。交付式は、昨年11月28日午後0時10分から渋谷キャンパス若木タワー会議室01で行われ、佐藤長門学生部長・文学部教授より奨学生証書が手渡された。

陸上競技部 橋本さん 湘南国際マラソンで好走

昨年11月3日に神奈川県大磯町などをコースに行われた第9回湘南国際マラソン(湘南国際マラソン実行委員会主催)に、招待選手として本学陸上競技部の橋本萌さん(健体4)が出場し、2時間50分00秒の自己新記録をマークしトップでゴールした。橋本さんは同部唯一の女子長距離選手。

【お詫びと訂正】

本紙第629号(平成26年11月号)の3面「高校生対象コンテストが応募締め切り」の記事内の表「地域の伝承文化に学ぶ」コンテストの合計点数6200点は誤りで、正しくは634点です。お詫びして訂正します。

本紙別冊K:DNA冬号(平成26年12月号)「630号」の6面「出版情報」の記事内の中澤伸弘氏の著書「村上忠順論考」は誤りで、正しくは「村上忠順論考」です。お詫びして訂正します。

# 高校生向けコンテスト入賞者が決定

国学院大学と高校生新聞社は、第18回全国高校生創作コンテスト(国学院大学若木育成会、国学院大学院友会、国学院大学北海道短期大学部協賛、文部科学省、全国高等学校長協会、全国高等学校国語教

育研究連合会後援)ならびに、第10回「地域の伝承文化に学ぶ」コンテスト(国学院大学若木育成会、国学院大学院友会、国学院大学北海道短期大学部協賛、文部科学省、農林水産省、全国高等学校長協

会、全国高等学校文化連盟後援)の入賞作品を決定、昨年12月7日、本学渋谷キャンパスにて入賞者の授賞式がそれぞれ行われた。入賞者などは以下のとおり(敬称略、順不同)。



第18回全国高校生「創作コンテスト」表彰式  
主催 国学院大学 高校生新聞社

入賞者や関係者が出席し、表彰式が行われた

## 第18回

# 全国高校生創作コンテスト

文部科学大臣賞に木更津工業高等専門学校(千葉県)

### 文部科学大臣賞

木更津工業高等専門学校(千葉)

### 特別学校賞

神戸朝鮮高級学校(兵庫)

### 短篇小説の部

- 最優秀賞 橋本 沙羅「真昼の星空」  
(千葉・木更津工業高等専門学校1年)
- 優秀賞 加納 千晴「福面の飴売り」  
(岐阜県立岐阜農林高等学校3年)
- 塚本 咲実利「天の雨の飴の話」  
(群馬・共愛学園高等学校3年)

### 現代詩の部

- 最優秀賞 山崎 華子「三行日記」  
(神奈川県立麻生高等学校3年)
- 優秀賞 和久井 航「綺麗な顔縁はいらない」  
(広島・広島学院高等学校2年)
- 加戸 海里「お姉ちゃん」  
(千葉県立安房高等学校3年)

### 短歌の部

- 最優秀賞 竹本 聖(茨城県立結城第二高等学校3年)
- 優秀賞 高橋 佐梨奈(埼玉県立浦和第一女子高等学校2年)
- 番澤 芹佳(岩手県立盛岡第二高等学校2年)

### 俳句の部

- 最優秀賞 阿部 仁実(宮城・常盤木学園高等学校2年)
- 優秀賞 作田 渉(青森県立七戸高等学校1年)
- 小林 弥幸(福岡・西日本短期大学附属高等学校2年)

全国高校生創作コンテストは、高校生の文芸創作を奨励する目的で平成9年より開催されている高校生向けの全国コンテスト。18回目となる今回は、359校、17389点(昨年は257校・12410点)の応募があり、内訳は短篇小説の部が915点、現代詩の部が942点、短歌の部が4576点、俳句の部が10956点であった。

厳正な審査の結果、文部科学大臣賞・特別学校賞および各部門の最優秀賞、優秀賞、佳作、入賞がそれぞれ決定され、文部科学大臣賞に木更津工業高等専門学校が選ばれた。

表彰式は昨年12月7日午前11時から渋谷キャンパス若木タワー会議室02で、入賞者および関係者、協賛団体代表者、審査員、村田光英高校生新聞編集局長はじめ同社社員、赤井益入本学学長、高島佳代子本学若木育成会副会長、加藤元茂国学院大学院友会常務理事などが出席し行われた。

## 短篇小説

- ◎佳作▽坂本駿太「老年生活」(山梨県立甲府東高等学校2年)▽折口史帆「白いマリア、白の非処女」(鹿児島県・屋久島おおぞら高等学校3年)▽小川美璃乃「ゴキブリ・ダイアリー」(東京・東京大学教育学部附属中等教育学校2年)▽安部雄登「じいちゃんとはなごころ」(山口・野田学園高等学校2年)▽松本美生「虎の威を借る狐の意をやる虎」(群馬・東京農業大学第二高等学校3年)▽渡辺真子「口内炎」(千葉県立安房高等学校2年)◎入選▽平野智也「追憶」(三重・

## 現代詩

- ◎佳作▽杉村明日香「言葉と共に歩く」(大阪・大阪大学附属高等学校2年)▽根岸祥平「掌の中のおぼあちゃん」(神奈川県立麻生高等学校3年)▽杉田沙里「図書館の本」(千葉県立安房高等学校3年)▽倉持望「時計と時間」(茨城県立水海道第一高等学校2年)▽滝澤有咲「仲間色の虹」(埼玉県立浦和第一女子高等学校2年)◎入選▽吉田司「鏡の中の私」(千葉県立安房高等学校3年)▽神澤みなみ「みち」(同)▽松井佑奈「うみ」(同)▽金木実莉「生まれてから」(同)▽村松駿「同僚」(同)▽松本彩「アンケート」(茨城県立水海道第一高等学校2年)▽田邊萌瑛「夏かしき」(埼玉県立浦和第一女子高等学校1年)▽名越玲

## 短歌

- ◎佳作▽文志潤(兵庫・神戸朝鮮高級学校2年)▽金杉優里(埼玉県立浦和第一女子高等学校2年)▽朴裕薫(兵庫・神戸朝鮮高級学校2年)▽渡辺麻衣(埼玉県立福川西高等学校3年)▽手塚優希(神奈川県・鎌倉女学院高等学校2年)◎入選▽北村萌(千葉・木更津工業高等専門学校1年)▽鬼頭あゆみ(三重・高田高等学校3年)▽鈴木龍(岐阜県立各務原西高等学校2年)▽内間大(沖繩県立陽明高等学校1年)▽谷ヶ城南(宮城・常盤木学園高等学校2年)▽石毛優吾(千葉県立東総工業高等学校2年)▽中村優教(熊本県立荒尾高等学校2年)▽渡邊拓実(千葉県立安房高等学校3年)▽山崎龍大(新潟・東京学館新潟高等学校3年)▽山本莉菜(岩手県立盛岡第二高等学校3年)▽山内遥菜

## 審査員

敬称略

- ◎短篇小説の部▽桜庭一樹(作家)▽中村航(作家)▽傳馬義澄(本学名誉教授)▽杉山英昭(本学大学院客員教授)◎現代詩の部▽西岡光秋(詩人)◎短歌の部▽田中章義(歌人)◎俳句の部▽佐川広治(俳人)

## 高校生向けコンテスト 合同懇親会を開催



懇親会では活発な意見交換も

全国高校生創作コンテスト「地域の伝承文化に学ぶ」コンテストの受賞者たちは、表彰式終了後、若木タワー有栖川宮記念ホールに会場を移し、午後1時から両コンテスト合同の懇親会を開催、受賞の喜びを分かち合った。冒頭、本コンテスト主催者を代表し、小川直之本学文学部教授、村田光英高校生新聞社編集局長があいさつ。その後、最優秀賞を受賞した生徒や、学校賞を受賞した高校の教員が、これまでの活動、賞を受けとった心境、今後の抱負などを語った。

会場内では、指導にあたった高等学校教員が審査員を囲み今後の研究におけるアドバイスを受けてたり、受賞した高校生がお互いに健闘をたたえ連絡先を交換したりと、和やかな雰囲気の中で会はお開きとなった。

## 高校生向けコンテスト

# 『入賞作品集』を制作中

広報課では、今回の入賞作品を掲載した『全国高校生創作コンテスト入賞作品集』を制作、2月下旬に刊行の予定です。短篇小説と現代詩の部は佳作までの作品、短歌と俳句の部については入選まで全ての作品を収録。同作品集は、当課窓口で先着順に無料配布いたします。発送をご希望の方も受け付けますので、希望部数と送付先をご連絡ください。なお、バックナンバーもごさいます。

また、『地域の伝承文化に学ぶ』コンテスト入賞作品集についても同様に制作中で、こちらも2月下旬に刊行を予定しています。同作品集もまた、広報課で同様に無料配布いたします。なお、こちらのバックナンバーに関しては数に限りがございます。(問い合わせ先・国学院大学総合企画部広報課 ☎03・5466・0130)

## 俳句

- ◎佳作▽竹内優太(東京・京華商業高等学校2年)▽法師人恵太(茨城県立結城第二高等学校3年)▽岩本美咲(長崎県立大村城南高等学校2年)▽山口美桜(福岡県立福岡農業高等学校1年)▽川上このか(岐阜県立飛騨神岡高等学校1年)◎入選▽高田友弥(福岡・西日本短期大学附属高等学校2年)▽山内遥菜(愛媛県立松山北高等学校2年)▽小野春菜(宮城県立松島高等学校2年)▽坂本凌(高知県立岡豊高等学校3年)▽立岡せり(埼玉県立浦和第一女子高等学校2年)▽坂中菜津穂(神奈川県立麻生高等学校2年)▽夏目真帆(静岡・浜松学芸高等学校1年)▽許匠(兵庫・神戸朝鮮高級学校1年)▽児島希実(京都府立鳥羽高等学校3年)▽庄司奈央(千葉県立安房高等学校3年)

第10回

「地域の伝統文化に学ぶ」コンテスト

折口信夫賞に伊良波君(沖縄県立首里高等学校)



賞状を手に記念撮影をする入賞者

「地域の伝統文化に学ぶ」コンテスト表彰式 主催 国学院大学 高校生新聞社

「地域の伝統文化に学ぶ」コンテストは、高等学校の「総合学習」の時間などを利用して地域研究を発表する機会を作るとともに、本学の持つ伝統文化に関する資産に触れてもらい、さらに研究を深める事を目的として、平成17年から開催されている高校生向けコンテストで、10回目となる今回は、45校、634点(昨年は35校・538点)の応募があった。また今回からは応募部門が再編され、これまでの研究レポート、創作作品(いずれも個人と団体)の2部門から、全ての名称を刷新した3部門に拡大して募集を行った。新部門での応募内訳は、地域文化研究部門が団体11点、個人359点、地域民話研究部門が団体8点、個人242点、学校活動部門が14点であった。

厳正な審査の結果、各部門各賞を通して最も優秀な作品に授与される折口信夫賞に地域文化研究部門(個人)から「沖繩・シマジマの祭祀~綱引き儀礼を中心にして」伊良波賢弥君(沖縄県立首里高等学校3年)が選出されたのをはじめ、部門ごとに最優秀賞、優秀賞、佳作、入選など合計34作品の受賞が決定した。(詳細は一覧確認) 表彰式は昨年12月7日午前10時から渋谷キャンパス学術メディアセンター常磐松ホールで、入賞者および入賞学校関係者、協賛団体代表者、審査員、スクーパートナーズ(高校生新聞)社員、赤井益久本学学長、高島佳代子本学若木育成会副会長、加藤元茂国学院大学院友会常務理事などが出席し行われた。 また、昨年度同様作品のプレゼンテーションも行われ、各部門で優秀賞以上を受賞した作品が発表された。

折口信夫賞 「沖繩・シマジマの祭祀~綱引き儀礼を中心にして」 伊良波 賢弥 (沖縄県立首里高等学校3年)

地域文化研究部門

- 優秀賞 「全国に誇れる三島の文化財 三嶋曆について」 (静岡県立三島北高等学校 郷土研究部)
優秀賞 「朴葉寿司~ふるさとの文化遺産~」 (岐阜県立益田清風高等学校 地域研究・社会探究)
個人
最優秀賞 「沖繩・シマジマの祭祀~綱引き儀礼を中心にして」 伊良波 賢弥 (沖縄県立首里高等学校3年)
優秀賞 「行統行事についての考察~栃木県河内郡上三川町野澤家を例にして」 野澤 美祈 (栃木県立宇都宮白楊高等学校3年) 「風鈴」片山 桃 (東京・富士見丘高等学校1年)

地域民話研究部門

- 優秀賞 「化け地蔵」松本 朱音 (福島県立小野高等学校1年)
優秀賞 「地域の伝統文化に学ぶ~東北地方の怪異譚~」 澁谷 涼平 (青森・五所川原第一高等学校3年)
※地域民話研究部門(団体)は該当なし

学校活動部門

- 優秀賞 「草津ブルー。露のごとく消えゆく運命か!! 伝統産業に光をもたらす高校生の挑戦!!」 (滋賀県立湖南農業高等学校 園芸工学科 園芸バイオ班) 「世界に誇る上田紬」(長野・上田西高等学校 ECC)

地域文化研究部門 (団体)
佳作▽「2013年度 地歴部民俗調査 東峰村(福岡県朝倉郡)」(奈良・帝塚山高등학교・地理歴史部)▽「源長と御祭禮」(静岡・クラーク記念国際高等学校浜松キャンパス・天野ふみ香、後藤亜蘭)◎入選▽「川辺祇園祭の今までとこれからについて」(鹿児島県立川辺高等学校・地域文化研究グループ)
(個人)
佳作▽「鹿兒島弁と諸県弁の不思議」(宮崎県立都城西高等学校2年・笠野尊)▽「特別なお茶「大和茶」」(奈良県立大和中央高等学校2年・西松琴助)◎入選▽「五所八幡宮の由緒と祭」(神奈川県立秦野首屋高等学校2年・重田悠輔)▽「安芸高田神楽」(広島・安田女子高等学校)

地域民話研究部門 (団体)
佳作▽「大阪の昔話」-「浦島太郎」から引き継がれるもの」(大阪・関西外語専門学校国際高等課程・「浦島太郎」研究班)▽「海なし県である群馬県における、浦島太郎伝説」(群馬・高崎商科大学附属高等学校)
(個人)
佳作▽「カエルの鳴かない池」(岐阜県立岐阜総合学園高等学校2年・末松颯)▽「門池の童」(静岡・不二聖心女子学院高等学校2年・米山千晶)▽「平清盛の嫡孫「六代御前」の墓伝説」(神奈川県・鎌倉女子大学高等部2年・工藤花成)
(個人)
佳作▽「地域の伝統文化に学ぶ」青森県立五所川原第一高等学校3年・花田舞花)▽「よこほまの浦島太郎伝説」(神奈川県・鎌倉女子大学高等部2年・杉山佳菜子)▽「藤沢の昔話・伝説」(同2年・黒木裕花)
入選▽「カエルの鳴かない池」に関する研究と絵本の制作」(岐阜県立岐阜総合学園高等学校2年・末松颯)▽「門池の童」(静岡・不二聖心女子学院高等学校2年・米山千晶)▽「平清盛の嫡孫「六代御前」の墓伝説」(神奈川県・鎌倉女子大学高等部2年・工藤花成)

審査員
全体▽小川直之(本学文学部教授)◎地域文化研究部門▽新谷尚紀(本学文学部教授)▽常光徹(国立歴史民俗博物館名誉教授)◎地域民話研究部門▽小川直之(本学文学部教授)▽花部英雄(本学文学部教授)▽佐藤美穂(本学文学部教授)◎学校活動部門▽高橋大助(本学文学部教授)▽飯倉義之(本学文学部助教)

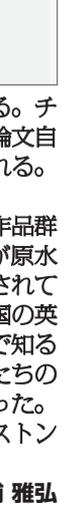
ノイマン・ゲーデル・チューリング 高橋昌一郎(本学文学部教授)著

前著『小林秀雄の哲学』(朝日新書)に評者は心地よい驚きを感じたが、高橋昌一郎氏の最新著は、いわば氏のホーム・グラウンドで健筆の振るわれた好著である。ジョン・フォン・ノイマン(1903-57)、クルト・ゲーデル(1906-78)、アラン・チューリング(1912-54)という20世紀を代表する天才数学者たちの業績が、それぞれの生涯の明暗と照らし合わせながら簡潔に紹介されて行く。3人に各1章が割り当てられ、まずそれぞれ1つの講演ないし論文の高橋氏による邦訳が掲げられ、次にそれらについての氏による解説が続く。さらにそれぞれの生涯と思想が綴られて各章が閉じられ、それから3章を序章と終章が挟むという構成である。
フォン・ノイマンの講演「数学者」の解説は、懇切明快で格好の導入を与えてくれる。チューリングの有名な「計算機械と知性」は、哲学の学会誌に寄稿されたこともあって論文自体難解ではない。それに対してゲーデルの講演をしっかりと理解するのはやはり骨が折れる。高橋氏の『ゲーデルの哲学』(講談社現代新書)をあわせて読むことをお勧めしたい。
人のいかなる業績も、その人の生き立ち、生涯と無関係ではありえない。高橋氏の作品群にはその認識が徹底している。3人の生涯を覆っていた影とは、フォン・ノイマンが原水爆開発への従事、ゲーデルが神経症という持病、そしてチューリングが当時は違法とされていた同性愛であった。第二次世界大戦時にナチス・ドイツの暗号解読に成功した「救国の英雄」の暗転した人生は、「プレイキング・ザ・コード」として舞台にものせられたので知る読者も多いだろう。評者が本書で初めて知った事実も少なくないが、この3人の天才たちの相互交流(チューリングはゲーデルを無視していたようだが)がことのほか興味深かった。無意味とわかってはいても、「もし」チューリングがフォン・ノイマンによるプリンストンへの招聘を受諾していたら……と思わずにはいられない。(筑摩選書 1600円+税)
立教大学教授 三浦 雅弘

『日本の民俗 暮らしと生業』『日本の民俗 祭りと芸能』 芳賀日出男 著

日本の祭りや芸能など、芳賀日出男氏が撮り続けた民俗世界の写真集が出版された。日本を代表する写真家である芳賀氏は大正10年生まれなので、今年94歳になられる。太平洋戦争中に大学で折口信夫に学び、眼に見える神である「まればと」の存在を知り、姿があるなら写真に撮れるということ、この道に入られた。それは昭和25年からというので、祭りや芸能などから日本を撮り続けて65年になる。
平成21年には、折口信夫の学説を自ら撮影した写真と文章で表現した『折口信夫と古代を旅く』を出版しているが、このたび、氏が写真で捉えた日本の民俗世界のエッセンスが、入手しやすい文庫本になった。2冊で484枚の写真を載せるが、その全ては現実にあった日本の姿で、記録性を備えたものである。平成の写真も含まれてはいるが、多くは昭和に生きる庶民の暮らしで、家々で行われる年中行事や人生儀礼、仕事に動かしむる人々、村や町で繰り広げられる祭りや芸能を写している。こうした写真の大半は、行事や儀礼、仕事をし、祭りや芸能を担う人々の姿が撮られている。生きる人間を撮っているのであり、ここに写る人たちの人生を感じることができる。『暮らしと生業』は、正月、盆行事、稲作、海女、巫女など13章、『祭りと芸能』は御幣、訪れ神、初春の祝福芸、鬼など17章から成り、それぞれについての解説があり、参考文献一覧もある。
日本人の生活が、行事や儀礼、祭り、芸能とともに存在していることを理解し、また感じることが出来る2冊で、購読を薦めたい。(角川ソフィア文庫 各1280円+税)
本学文学部教授 小川直之

新刊紹介



# 「渋谷」を学び楽しむ ヒカリエでイベント開催



1月10日、本学は地域連携企画「国学院 in Hikarie」渋谷学と渋谷学を渋谷ヒカリエで開催した。同所でのイベントは昨年度に続き2回目。第1部の「渋谷学」では、元NHKアナウンサーの松平定知本学客員教授が「私と渋谷、その渋谷の歴史」をテーマに講演。幼少期から現在に至るまで「入生の8割は渋谷と関わってきた」という松平客員教授は、小学生時代の渋谷を振り返り、「渋谷の文字はキラキラと輝いているイメージだった」と語った。続いて、渋谷という地名の由来にも関する金王八幡宮の由緒を中心に、平安期から江戸期に至る渋谷の歴史を、テレビ番組さながらに解説した。

## ミュージアム連携、2事業開催

本紙昨年6月号・9月号でも紹介した「東京・渋谷から日本の文化を発信するミュージアム連携事業」では、昨年12月に同事業に関連した研究会とイベントがそれぞれ開催された。ミュージアム連携事業は本学博物館を中核館として、山種美術館(東京・渋谷区)・東洋文庫(東京・文京区)との連携で展開している。10月31日から12月19日に東洋文庫との連携事業「ミュージアム展示とデジタル技術」研究会を開催。続く12月23日には、山種美術館主催の「旅 モーツァルトと東山魁夷」



に思いをはせて開催された。第1回は本学博物館を会場にして、吹田市立博物館館長の中牧弘允氏と、天理大学参考館学芸員の中尾徳仁氏の2氏による講演。引き続き連携の博物館の展示スタッフが集い、デジタル技術を博物館展示にどのように活用できるかについて議論した。第2回は東洋文庫で、同館のミュージアム施設の見学、凸版印刷株式会社の高橋英一氏と安井昌彦氏の2人を講師に招き、同社のデジタル技術を中心とした最新事例の解説を受けた(写真)。その後総合討議として、参加者からの質疑を受けて、意見交換を行い、展示を中心とした博物館の新たな可能性を共有した。

## 「国学院大学学びへの誘い」 各開催地で文化の発展に貢献



本市時計博物館(9月13日から同23日まで)1627人。新潟「新潟大学駅南キャンパスときめいと」(10月4日から同13日まで)568人。東京「国学院大学博物館」(10月18日から11月8日まで)3400人。総来場者数は6840人。渋谷ではプロガー内覧会を開催し、堀越祐一文学部兼任講師による展示解説(写真)後、自由鑑賞・撮影となった。松本では根岸茂夫同教授による「雑兵物語」にみる合戦の風景の講演を、新潟では矢部健太郎同准教授による「豊臣政権と上杉家」上落・「清華成」と儀礼認識」と題する講演を開催した。

本学では、全国の各地域における文化的貢献を行うことを目的に「国学院大学学びへの誘い」と題した展示会を平成17年度から実施。今年も本学所有の学術資産を公開し好評を博した。10年目の今年度は「戦国・織豊期の古文書」をテーマに、本学図書館所蔵の「太田道灌状」や毛利輝元



昨年12月6日、渋谷区立鉢山中学校(渋谷区鶯谷町)で本学の雅楽サークル「青葉雅楽会」による「雅楽教室」が開催された。今回は、3年生と特別支援学級を対象に開催され、同部員による雅楽の楽器についての説明と、楽器の体験、雅楽の実演が行われた。学校教育で日本文化が注目され、音楽の授業でも積極的に邦楽に取り組んでいるものの、楽器や演奏に直接触れる

### 鉢山中学校で 雅楽教室を開催

機会を極めて少ない。そうした中、渋谷キャンパスの立地する地元地域に貢献、日本文化を守り、継承する本学の社会的責任を果たす一環として、今回の教室が開催された。参加した中学生は、あまりなじみのない和楽器に触れたり、楽器の形態や大きさからは想像できない音の音色に驚いたりしながら、実演を楽しんでいた。

### 院友会

## 東日本大震災 被災学生向けに寄付



本学卒業生の組織である国学院大学院院友会から、東日本大震災被災学生支援を目的とする指定寄付金を本年度も受けた。贈呈式が昨年11月25日に明治記念館(東京・港区)で行われ、吉田茂穂院友会会長から、赤井益久学長へ目録が贈呈された。同寄付金は被災地出身学生への修学・生活支援に有効活用される。

## 第2回 博物館関係院友集いの会

昨年11月22日渋谷キャンパス常磐ホールで第2回博物館関係院友集いの会が開催され、全国で活躍する100人近い本学卒業の学芸員・博物館学教員の参加があった。主催者の青木豊文学部教授のあいさつでは、昭和32年に開設された本学博物館学課程の歴史と近年の活動について解説があった。本学大学院に博物館学専攻が開設され、平成21年に大学院高度博物館学教育プログラムが文部科学省GPPに採択されたことを、本学院友学芸員の基盤として紹介した。

## 名作「武士の家計簿」の世界

### 院友会東京23区支部講演会

昨年11月22日、渋谷キャンパス院友会館で午後3時から院友会東京23区支部総会が、午後4時から同支部主催の講演会がそれぞれ行われた。今年度の講演会では、映画「武士の家計簿」や「武士の献立」で脚本を手がけた相田道夫氏が「時代劇映画の創り方」と題して映画製作の舞台裏を語った。通常の時代劇映画は、刀を使った立ち回りがメイン

## 秋の褒章・叙勲 栗原・井上・番場の3氏も

昨年11月3日付で秋の褒章・叙勲が内閣府から発令された。本紙629号(平成26年11月10日)では、本学関係者4氏の受賞を掲載したが、新たに3氏の受賞が判明した(1月10日現在。以下、敬称略)。  
◇藍綬褒章(調停委員功績)▽番場美枝(昭41卒・74期文、元調停委員)  
◇旭日双光章(保健衛生功労)▽井上豊彦(井上慶山)(昭43卒・76期神専、元(社)日本鍼灸師会副会長)  
◇瑞宝双光章(教育功労)▽栗原潔(昭42卒・75期文、元公立小学校長)  
なお、他の受賞者が判明した場合は、本紙632号(平成27年2月10日付)以降に紹介する。

## 第6回 公開模擬裁判院裁判と シンポジウムを開催

渋谷区住民も参加  
渋谷キャンパス120周年記念2号館法廷教室で昨年11月22日に公開模擬裁判院裁判と、渋谷パブリック法律事務所と連携して「リーガルクリニック(初級)」を開講、裁判院裁判に対応できる法廷活動を学んでいる。その集大成の場である本学の公開模擬裁判は、法科大学院生学生が、裁判官・弁護人・検察官役を務め、裁判員役に渋谷区民が参加する形で



シンポジウムでは本学法科大学院修了生法曹らによる座談会「リーガルクリニックを受講して」のほか、四宮啓本学法科大学院教授による講演が行われた。



制作の舞台裏を語る 相田氏

# 「第21回フレンドシップ ジュンコウベースボールトーナメント大会」優勝

経済ネットワーク学科3年(準硬式野球部マネージャー) 早川百合花

昨年12月6日、7日、米国グアム島で準硬式野球の親善大会「第21回フレンドシップジュンコウベースボールトーナメント大会」が開催された。この大会は、東都大学リーグ1部選抜(東都Aチーム)、東都大学リーグ2・3部選抜(東都Bチーム)、東京六大学リーグ選抜、神奈川大学リーグ選抜、東海地区大学選抜の5チームが日本から参加し、現地グアムの3チームの計8チームで争われた。現在、東都大学リーグ1部に所属している本学は、東都Aチームの一員として、井出寛之(健体3)、亀谷侑(経営3)、伊藤利希(経営2)、宇良淳(経ネ1)に、マネージャーとして早川の計5人が出場した。



昨年12月6日、7日、米国グアム島で準硬式野球の親善大会「第21回フレンドシップジュンコウベースボールトーナメント大会」が開催された。この大会は、東都大学リーグ1部選抜(東都Aチーム)、東都大学リーグ2・3部選抜(東都Bチーム)、東京六大学リーグ選抜、神奈川大学リーグ選抜、東海地区大学選抜の5チームが日本から参加し、現地グアムの3チームの計8チームで争われた。現在、東都大学リーグ1部に所属している本学は、東都Aチームの一員として、井出寛之(健体3)、亀谷侑(経営3)、伊藤利希(経営2)、宇良淳(経ネ1)に、マネージャーとして早川の計5人が出場した。

東海地区大学選抜との1回戦は8-2で快勝。先発の宇良が5回無失点の好投。8回からは井出が登板し、ヒットを許さない投球でリードを守った。準決勝の神奈川大学リーグ選抜との試合では、亀谷が7回に勝利を決定づける本塁打を打ち、10-7の乱打戦を制した。決勝戦の相手は、東京六大学リーグ選抜。この試合でも先発の宇良が5回無失点の素晴らしい投球をし、ゲームを作った。また、1番センターで出場した伊藤も安定した守備を披露し、守りで宇良を援護。チームも6-2で勝利し、優勝を飾った。なお、大会MVPを宇良、ホームラン賞を亀谷が獲得した。

硬式野球と同様に、準硬式野球の世界でも東都大学リーグは混戦が続いている。ぜひ、これからの本学準硬式野球部の活躍にも注目していただきたい。

## 陸上競技部OB

# 駅伝・マラソンで力走

本学陸上競技部OBが、駅伝大会やマラソン大会に出場し、結果を出している。ニューイヤ駅伝 4選手出場 各地区予選を勝ち抜いた実業団37チームで争われる第59回全日本実業団対抗駅伝競走大会(主催・日本実業団陸上競技連合)通称ニューイヤ駅伝が1月1日の午前9時15分から群馬県庁前(前橋市)をスタート・ゴールとする7区間100kmのコースで行われ、本学陸上競技部OBの4選手が出場した。1区には富士通の山口祥太選手(平20卒・16期経)とJR東日本の寺田夏生選手(平26卒・12期健体)が出場。山口選手は、区間13位、チームの最終順位は7位だった。寺田選手は、区間17位、チームの最終順位は14位だった。4区には、重川材木店の上條 記明選手(平18卒・11期史)が出場し、区間32位。チームは37位だった。6区には、中央発條の柿沼昂太選手(平26卒・12期経)が出場。区間30位。チームの最終順位は29位だった。他に、愛三工業の船越大輔選手(平19卒・15期法)、プレス工業の中山翔平選手(平25卒・12期日文)もエントリーされていたが、当日の出場はなかった。

### 防府脱走 仁科選手が4位

昨年12月21日に山口県防府市で行われた第45回防府脱走マラソン大会(主催・中国陸上競技協会防府市脱走新聞社ほか)では、富士通の仁科徳将選手(平23卒・19期神文)が、2時間13分47秒のタイムで、4位に入り、新人の優秀選手に贈られる濱村杯を受賞した。

## 夢の実現に向けて共に育つ

### 人間開発学部部長賞

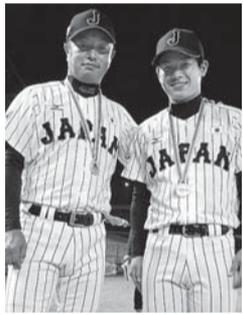
昨年12月17日午後0時40分からたまプラーザキャンパス3号館会議室で平成26年度人間開発学部部長賞の授与式が行われた。今年度は15人の学生が受賞。授与式では、新富康夫同学部長・教授から表彰状と副賞を受け取り、学部の教員から祝福の拍手が贈られた。受賞者を代表して、柄谷弘貴君(健体4)がいささつに立ち、「4年生は、卒業後は人間開発学部生の誇りをもって過ごしたい。後輩のみなさんは学部の歴史を作ってほしい」と、抱負を語った。同賞は、人間開発学部の理念に基づき、学生の優れた実践的活動を表彰することを目的として、学部独自に設けた賞で、主に教育的実践活動、地域貢献活動、課外活動において優れた実績を収めた2年生以上の学生に授与される。



記念撮影する受賞者と新富学部長(前列左から3人目)、成田副学部長(同2人目)

## 野球・IBAF 21Uワールド杯 柴田君 準優勝に貢献

昨年11月7日から16日まで台湾・台中で行われた第1回21Uワールド杯で、日本は決勝で台湾に0-9と大敗し、準優勝に終わった。本学硬式野球部からは、内野手として柴田竜拓君(経2・写真右)が、コーチとして鳥山泰孝同部監督(同左)が選出されていた。柴田君は、全8試合中4試合に代打や代走、守備固めとして出場した。



## 中国セメスター留学 全プログラムを修了

### 中国・復旦大学(上海)

中国・復旦大学(上海)で行われていた本学セメスター留学が、昨年11月21日に修了式を迎え、現地指導教員と別れを惜しんだ。修了式では、一人一人に修了証と記念品が手渡され、同プログラムは例年、天津市の南開大学で実施され、大気汚染の原因とな

## パソコンノートテイク研修実施

本学では聴覚障害のある学生のためにノートテイク(講義内容の要約筆記)支援を行っており、今年度4回目となる昨年12月6日の研修では、筑波技術大学の宇都野康子氏を招き、パソコンノートテイク研修を実施した。パソコンノートテイクは専用ソフトを使うことで、複数の支援者による連携入力が可能になり、情報量は飛躍的に増える。今回は専

法人を経営する院友必見! 税務調査の実例40 選定理由・展開 国学院大学経済学部教授・税理士 小宮山隆 著 法令出版 2,300円(税込) 「誠実な納税者目線」に立ち、税務署が調査対象に選定した理由や調査の着眼点、調査方法、また、調査対象となった個人や法人が所得隠しなどを行った動機や手口などを実際の事例を踏まえつつわかりやすく解説。また、所得隠しによる悪影響や、税理士が応えるべき納税者からの期待、税の知識に関する研鑽の重要性などにも触れた一冊だ。

## インフォダイジェスト

学部・専攻科・別科 卒業証書・学位記並びに修了証書授与式 3/22(日) グランドプリンスホテル新高輪「飛天」で 経済学部・法学部・人間開発学部は午前10時から、文学部・神道文化学部・専攻科・別科は午後1時30分から挙行。卒業式終了後、卒業証書・学位記、修了証書等を経済学部・法学部は午後1時30分から、文学部・神道文化学部・専攻科・別科は午後4時30分から授与。人間開発学部は午後2時からたまプラーザキャンパスに移動し、授与する。大学院・法科大学院学位記授与式 大学院の第63回学位記授与式ならびに法科大学院の第10回学位記授与式は、3/20(金)午前11時から渋谷キャンパス学術メディアセンター常盤松ホールで挙行。祝賀会は午後2時から若木タワー有栖川宮記念ホールに場所を移し行う。

事務局からのお知らせ 教学事務部・学生事務部・たまプラーザ事務部・図書館・情報システム課 春期休暇中の事務室開室日時および証明書自動発行機稼働日程 2・3月中の教務課、教務課、学修支援センター相談室、教職センター、大学院事務課、法科大学院事務課、学生生活課、保健室、学生相談室、国際交流課、キャリアサポート課、たまプラーザ事務課、図書館、コンピュータ教室の開室と証明書自動発行機の稼働日時は、渋谷・たまプラーザキャンパスとも本学ホームページを参照。 教務課 平成26年度成績通知と卒業者の発表 3/3(火)の午後16時KISSMAPYで発表。卒業・進級判定を兼ねる。専攻科・別科は同日教務課窓口で交付。 国学院大学生生活協同組合 今年度卒業生への出資金返還 生協加入時に預かった出資金は、3/3(火)の成績発表時から返還手続きを開始。返還には「出資証書」「組合員証」「印章」が必要。詳細は生協窓口まで。

講座・学会等のご案内 平成26年度 教育開発シンポジウム 2/21(土)午後1時、本学渋谷キャンパス学術メディアセンター常盤松ホール。第一部は、松坂浩史氏(文部科学省広報室長・文部科学広報官)の基調講演。第二部はシンポジウム。パネリストは、田淵結氏(関西学院大学教務主任、関西学院大学教育研究センター)、小嶋知善氏(大正大学教育開発推進センター長、表現学部長)、加藤孝夫氏(国学院大学教育開発推進センター長、人間開発学部長)。 コメンテーターは寺嶋昌男氏(立教大学本部調査役、東京大学名誉教授)。司会は柴崎和夫氏(国学院大学教務部長、人間開発学部長)。参加希望者は、ホームページからの申し込みを。定員250人に達し次第締め切り(先着)。詳細は教育開発推進機構まで(03-5466-6744)

その他のイベント等は、本学ホームページで確認ください。

第91回箱根駅伝で、本学陸上競技部は総合14位の成績であった。4年生5人を中心に箱根経験者8人を擁したが、序盤から下位に低迷。前回途切れた襷をつなぎ、9区、10区で盛り返したが、念願のシード権には約7分届かなかった。なお、大会は青山学院大学が初の総合優勝を飾った。2位は駒澤大学、3位は東洋大学。

### 〈往路〉流れ作れず下位に低迷

今年の大会は、序盤から順位がめまぐるしく変わるレースとなった。その中で本学は、1区から5区まで前回大会出場者が名前を連ねた。昨年10月の予選会では、ベスト10に入った蜂須賀君(1区)、沖守君(2区)で流れを作りたかったが力を出し切れなかった。



4区吾妻君(小田原)

### 〈総合成績〉

順位	大学名	記録
1	青山学院大学	10:49:27
2	駒澤大学	11:00:17
3	東洋大学	11:01:22
4	明治大学	11:01:57
5	早稲田大学	11:02:15
6	東海大学	11:07:08
7	城西大学	11:08:15
8	中央学院大学	11:09:18
9	山梨学院大学	11:10:43
10	大東文化大学	11:11:15
11	帝京大学	11:13:30
12	順天堂大学	11:13:32
13	日本大学	11:17:59
14	国学院大学	11:18:12
15	日本体育大学	11:18:24
16	拓殖大学	11:18:24
17	神奈川大学	11:18:47
18	上武大学	11:18:53
19	中央大学	11:20:51
20	創価大学	11:31:40
参考記録	関東学生連合チーム	11:19:12

# シード奪還へ道半ば

### 〈復路〉廣川・湯川が「魂の走り」

翌日の復路は、本学を含め8位以下の13チーム(オープン参加含む)が一斉スタート。先頭を行く青山学院大がリードを広げる中、箱根初挑戦の細森君(6区)と川副君(8区)、2年ぶりの箱根路となった較島君(7区)が力走を見せるも、なかなか順位を上げられなかった。2年連続の繰上げスタートが心配される中、9区・廣川君は区間5位と好走。鶴見中継所では、繰上げスタートまで残り1分を切ったところで、10区・主将の湯川君に襷をつないだ。湯川君は、一時は区間1位のペースで上位を猛追。順位を5つ上げて大手町を駆け抜けた。

大会終了後、大手町ファーストスクエアEAST前で応接した。前回は、湯川君の好走を「魂の走りだった」と語り「来年はシードを取りたい」と決意を語った。主将の湯川君は、「国学院大学らしい走りをしたかった。悔しい思いはシード権獲得とせざるを得ない。後輩たちが引き継いでくれると信じている」と振り返った。



6区細森君(大平台)



9区廣川君(横浜駅前)

### 〈出場選手成績〉

区間	氏名	学科 学年	区間 順位
往路	1 蜂須賀 源	健体2	14
	2 沖守 怜	健体4	17
	3 塚本 一政	法 4	20
	4 吾妻 佑起	健体3	8
	5 大下 稔樹	経ネ3	14
復路	6 細森 大輔	法 2	14
	7 較島紋二郎	健体4	13
	8 川副 智洋	初教4	19
	9 廣川 倅暉	神文3	5
	10 湯川 智史	経営4	6

### 第28回 国学院大学松尾三郎杯争奪全国選抜高等学校柔道大会

## 全国から強豪校が集い熱戦

第28回国学院大学松尾三郎杯争奪全国選抜高等学校柔道大会(国学院大学柔道部主催、毎日新聞社後援)が、昨年12月23日にたまプラーザキャンパス体育館で開催され、北は青森から南は徳島まで59校が参加した。本大会は、本学柔道部出身者が奉職した各高等学校の柔道部による交歓試合を前身とし、その後、故松尾三郎本学元理事長のスポーツ振興、とりわけ柔道振興に尽力した功績を顕彰するとともに、本学および本学柔道部が新道発展に貢献することを目的に毎年開催されている。

出場校にとっては、高校総体後、代替わりをした新チームが初めて挑む全国規模の新人戦で、各校の実力をほかれる機会となっている。

大会は、団体戦トーナメント方式で進められ、決勝戦は、日体荏原高等学校(東京)が前回大会優勝の修徳高等学校(同)を降し、優勝を果たした。第3位は、作陽高等学校(岡山)と国士館高等学校(東京)だった。優秀選手には、長井達也君、長井晃志君(以上、日体荏原)、佐々木和也君(修徳)、星野太蔵君(作陽)、河田闊志君(国士館)の5選手が選出された。



### 学生団体・個人の成績

◎柔道部 平成26年度全日本学生柔道体重別団体優勝大会(男子16回 女子6回)が昨年10月25日、26日にベイコム総合体育館(尼崎市記念公園)で行われ、同部はベスト8に入った。

◎相撲同好会 第92回全国学生相撲選手権大会(主催・公益財団法人日本相撲連盟)が昨年11月8日、9日に両国国技館で行われ、同部は団体Cクラスで3位入賞を果たしBクラストーナメントに進出した。Bクラストーナメントは1回戦敗退。

この国の心をうつす、日本人になろう。

長い年月を積み重ね、培われてきたこの国の思想や文化。私たちの心の奥に根ざしているもの。カタチには表しにくいものですが、例えば正座の仕方にも、箸の使い方にも、私たちの日常の仕草や振舞いの中に、その美しさを見ることができます。この思想や文化を礎にこれからの社会で、世界に向けて活躍する人を育てる。それが国学院大学の役割です。

もっと日本を。もっと世界へ。

## 国学院大学

文学部・神道文化学部・法学部・経済学部・人間開発学部  
大学院・法科大学院・北海道短期大学部

〒150-8140 東京都渋谷区東4-10-28 国学院大学 総合企画部 広報課 03-5466-0130 <http://www.kokugakuin.ac.jp>